

音楽科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識及び技能	○器楽では、鍵盤ハーモニカを正しい運指で演奏したり、拍を数えて打楽器を打ったりすることができます。	○器楽では、音色に気を付けながら、リズム楽器を友達と合わせて演奏することができます。	○リコーダーは正しい運指で演奏することができます。音色を意識して演奏することができます。	○リコーダーの運指の理解は、個人差があります。 ○音色を意識して豊かに演奏できる児童がいます。	○リコーダーの運指の理解は、個人差があります。 ○歌唱では、響く声と正しい音程で歌うことができます。	○器楽では、リコーダーの基本的な奏法は、身に付けています。 ○歌唱では、発声や響きを意識する児童が多くいます。
思考力、判断力、表現力	○曲の雰囲気に合わせて声で歌えますが、強弱に気を付けて歌うことが苦手な児童もいます。 ○鑑賞では、曲調を感じ取って体で表すことができます。	○歌唱では、無理のない発声で歌うことができます。 ○鑑賞では、曲を聴き、リズムに合わせて体を動かす、自分の思いを活発に発言することができます。	○リコーダーの音色を意識したり、タンギングの仕方を工夫したりできるよう継続的に学習する必要があります。 ○鑑賞では、音色や曲想を味わいながら聴くことができます。	○リコーダーの音色を意識したり、レガートの表現を工夫したりすることができます。 ○鑑賞では、楽器の音色を意識したり、友達の意見を参考にしたりしながら、考えを深めることができます。	○歌唱では、高音での響きのある発声を意識して歌うことができます。 ○合奏では、積極的に粘り強く練習に取り組むことができます。	○合奏では、楽曲の構成や変化に気を付けて演奏することができます。 ○曲想に合った歌声や強弱で歌えるよう表現を工夫しようとする様子が見られます。
学びに向かう力、人間性	○友達と協働して歌ったり手拍子を打ったりする活動に進んで取り組んでいます。	○友達と協働して歌ったり手拍子を打ったりする活動に、進んで取り組むことができます。	○いろいろな楽器に興味をもち、前向きに取り組むことができます。 ○思いや意図を表現しようと粘り強く練習することができます。	○熱心に取り組み、楽しむことができます。 ○合奏をする雰囲気を楽しみ、前向きに取り組むことができます。	○歌唱では、友達とのハーモニーを大切に、進んで練習する姿が見られます。 ○合奏をする雰囲気を楽しみ、前向きに取り組むことができます。	○協働して取り組む楽しさを感じて、より良い表現にするために粘り強く取り組むことができます。

2 課題と改善策、検証方法

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	○意欲的に歌うことはできませんが、拍の流れや音程に気を付けて歌うことが苦手な児童もいます。	○静かに落ちついて課題に取り組む姿勢を育むことが課題です。	○リコーダーの音色を意識した演奏ができるように曲想を感じ取り、表現することが課題です。	○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。	○合奏では自分の音だけではなく、相手の音の動きをよく聴くことが課題です。 ○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。	○歌唱では、調和のとれた響きの合唱ができるようになることが課題です。 ○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。
改善策	○いろいろな楽曲を歌ったり、階名唱したりしながら正しい音程をつかめるようにします。 ○音楽に合わせて体を動かす活動を取り入れていきます。	○学習のルールを徹底し、スモールステップでできた褒めるを繰り返していきます。	○リコーダーの曲も必ず、曲想に合った表現で階名唱をしてから演奏するようにします。	○鑑賞のワークシートやタブレット端末を活用して音楽的な要素を理解できるよう指導します。	○短いフレーズの中で他のパートの動きも一緒に確認し、聴いたり歌ったりします。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末を活用し繰り返し学習します。	○伴奏や他の声部をよく聴けるよう少しずつ取り出して練習します。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末を活用し繰り返し学習します。
検証方法	○歌を歌う活動では、リズムボックスを活用しながら歌ったり、音程が取れない児童のそばで一緒に歌ったりします。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○歌やリコーダーの演奏を聴取して検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や演奏聴取で検証します。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末で確認をして、検証します。	○行動観察や演奏聴取で検証します。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末で確認をして、検証します。